

チェックリスト(解説系)

原稿番号	T
原稿受付	年 月 日

分類	番号	執筆者 チェック欄	チェック項目	査読者 チェック欄
(A)提出物	1		原稿表紙	/
	2		原稿	
	3		著作権譲渡書(控えを著者が保管する)	
	4		転載許可願(もし必要な場合は添付)	
	5		チェックリスト(本紙)	
(B)総合	1		過去に公開された記事や投稿中の記事と同一内容で構成されていない。	/
	2		共著者全員が原稿に目を通している。	
	3		図表の転載に当たり、原著者、著作権者の許可を得ている(掲載時)。	
	4		原稿は、表1の規定ページ数以内(*印記事の超過は1ページ)である。 超過理由:	
	5		記号、用語および単位は原則としてSI単位系に準拠している。	
	6		章番号は「1., 2., …」, 節番号は「1.1, 1.2, …」としている。	
(C)表現	1		簡潔かつ適切に内容を表現している。	
(D)英文表題 表現	1		英文タイトルが適切かどうか。	
	2		Explanation of(on)…等の冗長な表現がない。	
	3		the をできるだけ省略している。	
(E)文献	1		関連する文献(自著も含まれる)を適正に引用している。	
	2		未公開および投稿中の文献は引用していない。	
	3		文献は本文中で必ず引用している。	
	4		文献に通し番号がついている。	
	5		本文中に、「… ¹⁾ , … ²⁾ 」のように引用している。	
	6		文献の記載形式は図1に従っている。	
(F)図表	1		図表は本文中で必ず引用している。	
	2		図表に通し番号がついている。	
	3		本文中に図表の挿入位置が指定してある(レアウト原稿雛形以外)。	
	4		図、表は別紙にまとめてある(レアウト原稿雛形以外)。	
	5		本文左欄外(レアウト原稿雛形では左右欄外)に行数が記載してある。	
	6		図表中の文字と図表の説明文は日本語で記載してある。	
	7		説明文だけで図表が十分理解できる。	
	8		図表中の記号の説明(定義)がなされている。	
	9		図の縦軸、横軸の説明は「物理量/単位」または「物理量 [単位]」の形式で統一されてある。	
	10		大きさを示す図には基準寸法が入っている。	
	11		図中文字の寸法は刷り上り2mm以上である。	
	12		写真は白黒で鮮明である。	
	13		図表を引用するとき図表キャプションへの引用番号が示されている。	
	14		図表は白黒で判別できる。	

表1 規定ページ数

説 苑	2	インタビュー	5
展 望	5*	若い声	1
解 説	5*	支部・地区 委員会便り	1
講 義	5*		
座談会	5*	報 文	2
年間展望	別に定 める	文献抄録	2
		トピックス	2
資 料	5	広 場	2
技術開発	2	賛助会員欄	1
Q and A	2	その他	1

注) *印の記事は1ページまでの超過を会報誌編集委員会が特別に認める場合がある。超過理由を(B)4に記載すること。

- (1) 雑誌の場合 文献番号) 著者名 [全員]: 雑誌名, 巻-号 (西暦発行年), 開始ページ-終了ページ。
【例】1) 青山越夫: 塑性と加工, 11-108 (1970), 673-677.
- (2) 前刷集の場合 文献番号) 著者名 [全員]: 前刷集名, 巻 [1巻のみの場合は不要], (西暦発行年), 開始ページ-終了ページ。
【例】1) 青山越夫・田中一郎: 平成4年度塑性加工春季講演会講演論文集, (1992), 510-511.
- (3) 書籍の場合 文献番号) 著者名 [全員]: 書名, 巻 [1巻のみの場合は不要], (西暦発行年), 引用開始ページ-終了ページ, 発行所。
【例】1) 青山越夫: 応用塑性学, (1969), 250-251, 六本館。

図1 文献の記載方法